

沖縄の元米海兵隊員による凶悪事件の糾弾に関する意見書

今年5月19日に元米海兵隊員の米軍属による女性遺体遺棄事件が起こりました。3月22日の那覇市内における米兵による女性暴行事件発生に続き、凶悪犯罪が立て続けに発生したことに強い憤りをもつとともに、このような蛮行を厳しく糾弾するものです。

1972年の沖縄日本復帰以来、今日に至るまで、殺人、強盗、放火、強姦など凶悪犯罪だけでも575件にのぼり、刑法犯罪の総数は5,907件にものぼっています。

またもやこのような事件が続発したことは、極めて遺憾であり、米軍における再発防止への取組や軍人・軍属等に対する教育等の実効性に疑問を抱かざるを得ません。

よって、墨田区議会は、政府に対し、沖縄県民及び国民の多くの怒りの声を受け止め、米軍に対して再発防止に向けた実効性のある抜本的な対策をとることを求めるよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成28年6月 日

墨田区議会議長名

内閣総理大臣
外務大臣
防衛大臣
内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）

} あて